

Photoshop CS2にはまだまだ知らない

機能がたくさん隠れている。

使いながらそれらを見つけ出すのが1つの楽しみでもある

栗山 和弥

(有) クリーチャー代表/
CGクリエイター、フォトレタッチャー
www.creature.co.jp

プロフィール

1969年生まれ。デザイナーとしてしばらく従事した後、グラフィックペイントボックスに魅了され、画像処理のノウハウを修得。1994年 Power Mac 8100発売を機に独立。1998年クリーチャー設立。現在、広告写真制作を中心に、6名のスタッフと多忙な毎日過ごす



(上から)
[サントリー モルツ：新聞広告]
CD 高松聡/AD 野尻大作/P 皆川聡
[Wilson：ポスター、雑誌広告]
AD 村田聡・稲葉大明/D 稲葉大明/C 大塚昇/
P 蒲生弘政/HM+ST 坂口等
[Four Roses：外箱]
3DCG+Photoshopで制作



グラフィックペイントボックスから始まり、14年のキャリアを持つ画像処理のプロフェッショナル 栗山和弥氏。Photoshopはバージョン 3.0から愛用。レイヤーとトーンカーブを自在に操りながら作り出すリアルでハイクオリティな作品は、どれもがレタッチの領域をはるかに超えるもの。グラフィック業界のトップクリエイターたちからの指名も後を絶たない。そんな栗山氏の、独自のPhotoshop CS2活用術について話を伺った。

・ワープ

曲げる、めくる、ゆがめるといった画像の変形を、プリセットを適用したり、あるいはキャンバス上で直接ドラッグしながら行えます



実際の旗を下絵にして、布のゆがみ具合を直感的にコントロール



・スマートオブジェクト

スマートオブジェクトを使用すれば、読み込んだビットマップ画像やベクトルグラフィックを劣化させることなく、拡大縮小、回転、変形することができます。Adobe Illustrator® で作成した高解像度ベクトルデータをそのままPhotoshop上で編集することも可能です。



左右別々のレイヤーが配置された画像をいったん縮小し、再び拡大。通常レイヤー（右）は画像が劣化しているのに対し、スマートオブジェクト化されたレイヤー（左）は元の画質を保持している

Photoshop CS2 を導入された経緯は—

僕はわりと新しい物好きなので、発売と同時にあまりためらうこともなくすぐに購入しました。これまでもそうだったんですが、Photoshopはバージョン毎の互換性の問題もありませんし、インタフェイスや操作性もずっと一緒なので、違和感なく始められます。バージョンアップして良くなることはあっても、悪くなることはほとんどありませんからね。

新機能の情報は、どのようなものから得られますか—

僕の場合、レイヤーとトーンカーブ、それと色相・彩度があれば、たいがいのことはできてしまうので、それさえちゃんと動けば合格なんです。だから購入する前にカタログを見たり、体験版などで検証するといったことはしません。最近では、マニュアルもほとんど見なくなりましたね。

それはPhotoshopの操作を熟知しているからですか—

Photoshopに正解はないんです。それは、使う人それぞれが決めることであって、マニュアル通りにやればすべての人が上手にできるわけでもありません。そういった意味では、まだまだ知らない機能はたくさんありますし、知らずに損をしていることもあると思います。でも使っているうちに、そういった機能を見つけ出していくのが、1つの楽しみでもあるんですよ。カタログやマニュアルにのっていない機能を見つける時だってありますし。

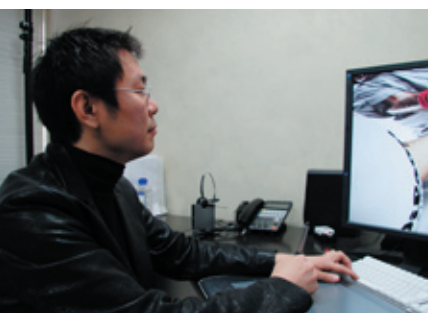
Photoshop CS2でもそういった発見はありましたか—

実はこの前、レイヤー画像に対して自由変形を行っている最中に、不透明度を調整できることに気づきました。今までは「適用」するまで何もできませんでしたよね。これは、下のレイヤーを見ながら位置を合わせたい時など、すごく便利です。

他に気に入った機能はありますか—

「ワープ」ですね。とにかくスピードが速い。ちょっとした変形であれば、「ゆがみ」を使うよりもはるかに効率的です。たとえば、スキャナに入りきらない大判サイズの前稿を取り込む際、分割でスキャンして、後でつなぎ合わせるんですが、ぴったりくるとはまずありません。そんな場合、「ワープ」を使っつつなぎ目の部分をサッとゆがませるだけで、簡単につじつまが合わせられます。ベジェに沿って変形されるのが「ゆがみ」よりも滑らかにゆがませることができます。画面いっぱいプレビューを見ながら、キャンバス上で直接コントロールできるのがいいですね。

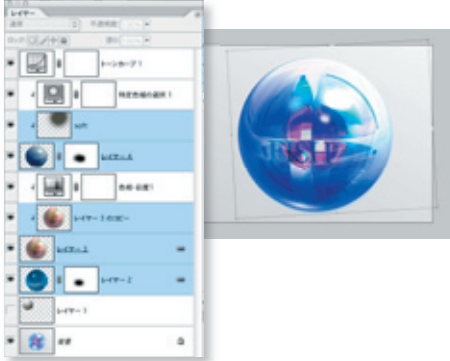
それから、化粧品の広告写真を手掛けた時の話なんですが、人物を魚眼レンズ風に湾曲させて撮影したんです。ところが思ったような写真が上がらず、クライアントからもNGが出てしまい、再撮りかかないという結論になりました。



"何が作りたいか、どうやったら作れるか、自分なりにイメージすることが大切。あとは、Photoshopを使って大抵のことはできる"

・複数レイヤーの選択・操作

キャンバス上で直接クリック&ドラッグを行い、どのレイヤーにあるオブジェクトでも直感的に選択、移動、変形、グループ化することができます



レイヤーをグループ化しなくても、キャンバス上で複数のレイヤーを選択し、一括して移動などの操作が行える



時間もコストもなかったのも、Photoshopで何とかならないかと思い、半分あきらめ気分で「ワープ」を試してみたんです。プリセットにある「膨張」を試したところ、思いもよらずいい感じに仕上がりに、これにはアートディレクターも驚いてました。結局クライアントからもOKが出て、再撮を免れたというエピソードがあります。クライアントには再撮したことになっているので、けっして名前を出せませんが(笑)。

レイヤーの操作に関してはどうでしょう

レイヤーの操作はバージョンを重ねるたびに良くなっていますね。レイヤーセットが作れるようになってすいぶん効率的になりましたし、今回の新機能である複数レイヤーの扱いも、キャンバス上に多くのレイヤー画像を配置する人にとっては待ち望んでいた機能だと思います。レイヤーに関して言うと、スマートオブジェクトが興味深い。まだ実際に仕事で使ったことはないんですが、元画像の画質を保持できるというのは大きなメリット。この利点を生かして、縮小・拡大の他にも活用範囲がもっと広がれば、合成作業に欠かせないツールになるでしょうね。

最後に、今後Photoshopに求めることは

Photoshopのおかげで、レタッチという分野が、日本でもだいぶ浸透してきました。レタッチされたものと、そうでないものとは明らかにクオリティが違うということが認識されてきたんでしょうね。Photoshopもどんどん使いやすくなっていますし、レタッチャーとして仕事をする人が今後ますます増えると思います。そうすると、僕らの仕事にも今まで以上のクオリティが求められるようになるでしょう。ただ、Photoshopを使えば何でもできるというわけではないし、自然とクオリティが上がるわけでもありません。いい絵をつくるためにはどうすればいいか、どうしたらクオリティが良くなるかを自分なりに追求することが大切。自分の中でイメージができ上がれば、後はPhotoshopを使って大抵のことは具体化できるんです。だから、Photoshopに何かを求めるというよりも、逆にPhotoshopの能力をもっと引き出してあげる、そういう使い方をしたいですね。Photoshopには、まだまだ使ったことのないすばらしい機能がたくさん隠れているわけですから。

お問い合わせ先

アドビ製品は、お近くのアドビ認定ディーラー (AAD: Adobe Advanced Dealer) でお買い求めください。AADリストをはじめとする最新情報は、アドビ システムズホームページ (www.adobe.co.jp) で入手して下さい。製品の購入に関する詳細はカスタマーインフォメーションセンター (tel.03-5350-0470) へお問い合わせください。

アドビ システムズ 株式会社 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー・www.adobe.co.jp
Adobe Systems Incorporated 345 Park Avenue, San Jose, CA 95110-2704 USA・www.adobe.com

アドビカスタマーインフォメーションセンター (製品に関するお問い合わせ) 03-5350-0407
アドビストア (注文専用) フリーダイヤル 0120-60-3884 または 0120-61-3884
受付時間 9:30~17:30 土、日、祝日および弊社指定休日を除く
※アドビストアはアドビのオンラインストアです。

Adobe、AdobeロゴおよびPhotoshopは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。
© 2006 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Printed in Japan.

XXXXXXXX X/XX

